

ひとづくり

第11号

弓削商船高等専門学校 情報工学科 広報誌 2016(平成28)年8月発行



ドコモ近未来社会コンテストで優秀賞を受賞

情報工学科5年生・今村楓さんと金山亜美さんは、平成28年2月27日NTTドコモ本社で開催されたドコモ近未来社会コンテストシニア部門（高専4～5・大学対象）において2位にあたる優秀賞を受賞しました。本コンテストは、「2020年そんなに遠くない未来はどんな社会になっているか、ICTの技術を活用して何ができるか」について学生のアイデアを競うコンテストです。

『i-pass Watch（腕時計型インテリジェント統合認証システム）』を提案した今村・金山さんは、高専や大学から総数60を超える応募作品の中から見事7作品に選ばれ、最終選考会に挑みました。提案作品は、財布やバックの中でかさばる鍵やカードを腕時計型の認証システムによって統合化するアイデアで、日常生活の円滑化や様々な拡張性が評価されました。今後は、提案したアイデアを実現できるように卒業研究で取り組み、次は最優秀賞を受賞すると意欲を新たにしていました。

SmartAIS でキャンパスベンチャーグランプリ 全国大会 審査委員会特別賞・学会発表



3月10日(水)、学生によるビジネスプランコンテスト「第12回キャンパスベンチャーグランプリ全国大会」が東京・霞が関の霞山会館で開かれ、瀬尾敦生さん、宇崎裕太さん、肥田琢弥さん、山本愛奈さん、井上香澄さんらが提案した「SmartAIS-小型船舶の安全な航海を支援するシステム-」が審査委員会特別賞を受賞しました。キャンパスベンチャーグランプリは大学・大学院・短大・高専・専門学校の学生を対象にした国内最大級の学生ビジネスプランコンテストです。

全国大会では、井上さん、瀬尾さんが発表を行いました。同日に宇崎さん、肥田さんは情報処理学会で3件の発表を行っており、研究面でも優れた活動を行っています。

瀬尾さんは二年連続の全国大会出場で、多くの審査員の先生から激励されていました。

3部門4チームが本選へ 第27回全国高専プロコン



警察署にてヒアリング

毎年優秀な作品で注目を集めている全国高等専門学校プログラミングコンテスト。今年度は171チームの応募の中、本校からは課題1、自由2、競技1の全チームが予選を通過しました。いずれのチームも企画段階から現地調査を行い、夏休み返上でシステム開発に取り組む予定です。本選は10月9日、10日に伊勢市観光文化会館(三重県)で開催されます。

○課題部門： Knee's Needs

○自由部門： ミ・マモーレ
i-pass Watch

○競技部門： 一致百慮

情報工学科2年の航海実習



帝人(株)松山事業所にて

情報工学科2年生(47名)が、7月5日から1泊2日の日程で弓削丸による航海実習と企業見学に参加しました。大半の学生は、弓削丸での航海は初めてで、船内での規律ある生活や団体行動を体験しました。企業見学では、松山市内のIT系企業(サイボウズ株式会社と株式会社ファインデックス)と帝人株式会社を見学しました。帝人(株)では、「会社としては、常に自己変革できる人材を求めている」こと、IT企業では、「情報系の資格取得について」の講話があり、学生達は熱心に質問していました。航海実習後、「どの会社で働いてみたいか?」についてたずねたところ、IT系、製造業、ほぼ同数の回答がありました。なお、航海実習は、「海事工学演習1」の履修単位として認定されます。

オープンキャンパスを開催



オープンキャンパスが7月23、24日に開催されました。情報工学科の見学コースでは、学科の概要説明、"創造性実験の展示"、"卒業研究作品の展示"、"プログラムによるゲーム制作体験"を設け、2日間で131名の中学生とそのご家族(91名)に参加していただきました。

また本年度の試みとして、昼休みの空いた時間に各学科の展示コーナーを設け、本学科では"ロボット展示"という名目で、レスキューロボット(おもちゃ)による操縦体験やパズルゲーム、ロボット製作についての説明などを行いました。

また11月5、6日は、本校の学園祭が開催されます。それと同時に第2回オープンキャンパスも開催しますので、今回参加できなかった方は是非参加いただき、情報工学科の様子を知っていただければと思います。

新しいPCの導入とiPadを貸与



本年度から演習用のパソコンを一新し、新しいパソコンが導入されました。PC室では、e-learningによるプログラミング演習や試験が行われています。

また、情報工学科4年の学生全員にiPad miniを貸与しました。現在、本校ではモバイル端末であるiPad miniを、情報工学科の4年と5年の学生に貸与しています。貸与したiPad miniでは、ゲームを除きアプリを自由にインストールできます。

未来のエンジニアを目指す学生諸君、授業や研究に大いに活用してください。

3名の教員が日本学術振興会科学研究費を獲得

今春、情報工学科の3名の教員に対して、日本学術振興会科学研究費(以下、科研費)の交付が決定しました。科研費は、文部科学省が日本の科学技術イノベーションを推進するために行っている研究開発投資であり、国内で最も大きな規模の競争的研究資金です。昨秋、情報工学科では、科研費獲得のための初の試みとして、教員同士による研究テーマのピアレビューとともに、科研費申請書のブラッシュアップが繰り返し行われました。情報工学科として3件の科研費の獲得は快挙であり、教員一丸になっての取り組みが、実を結んだ形になります。

研究者	研究課題	研究資金
長尾 和彦	小型船舶事故減少に貢献するAIS代替システムの開発	455万円
續木 大介	乳幼児を対象とした頭部構造画像不要の脳機能計測法：確率的拡散光トモグラフィの開発	390万円
前田 弘文	船舶火災における探査活動が可能なレスキューロボットの開発	325万円

全国高専体育大会 情報工学科の出場者

7月1日から18日の期間に開催された四国地区高専体育大会（弓道は中四国地区高等専門学校弓道大会）を勝ち抜き、本校の情報工学科から全国高専体育大会へ出場する学生と大会日程は次のとおりです。

卓球部の馬越さん（I4）は、近年初の卓球部女子の全国大会出場という快挙を成し遂げました。本年度から同好会から部となった弓道部では神野さん（I5）が男子個人の部で3位という創部後初の好成績を収めました。

【陸上競技】8月24日、25日（名古屋市稲穂公園陸上競技場）

800M : 白川友理（I5）
砲丸投 : 高瀬玄渉（I1）
4×400m : 牧野一生（I4）

【卓球】8月20日、21日（豊田市総合体育館）

女子シングルス：馬越早恵（I4）

【バドミントン】8月20日、21日（高岡市民体育館）

女子団体戦 : 黒田菜々子（I4）、清水悠里（I3）、佐藤花菜（I2）、梨木杏樹（I2）、阿部遥（I2）
女子個人戦 : 黒田菜々子（I4）、清水悠里（I3）

【弓道】8月23日、24日（山口県弓道場）

男子個人の部： 神野義久（I5）



陸上競技場にて



卓球競技会場にて



弓道部表彰式にて



バドミントン競技会場にて



国立弓削商船高等専門学校

〒794-2593 愛媛県越智郡上島町弓削下弓削 1000 番地

<http://www.yuge.ac.jp/> 0897-77-4620

題字：馬越 唯（平成23年度情報工学科卒業生）

コンピュータ教育を通して、社会に役立つ「ひとづくり」を目指します。